

だんだんどうも!

今回は、中条池谷地区の女性の皆さんにインタビューに伺ってきました。菅根イミ子さん(77才)、庭野ヒサさん(75才)、多田美紀さん(36才)、多田和正君(6才)、多田幸弘「よしひろ」君(2才)、坂下可奈子さん(26才)、福嶋美佳さん(28才)の7人にお話を伺いました。多田さんは兵庫県、坂下さんは香川県、そして福嶋さんは東京都のご出身です。3人が池谷に来られたきっかけは、いずれも中越地震後の、ボランティア活動に参加するためでした。現在池谷地区は8世帯、19名の皆さんが暮らしています。内、3世帯は新たに住人となった方達とのこと。子供は和正君とよしひろ君を併せ3人。多田さんに子供達の将来について尋ねたところ、「健康で素直に育って欲しい」と話してくれました。坂下さんは結婚後も池谷に住むことを思案中。福嶋さんは、既に中条に嫁がれNPO法人十日町市地域おこし実行委員会の職員として、池谷地区で活躍されています。



県外から来られたお二人に池谷の良い点とは聞いたところ、坂下さんは「よそから来た人をぐいぐい引っ張ってくれるのとても前向きで『頑張りや』という気になる。池谷は『限界集落』と言われるが、私は『希望集落』と言っている。」福嶋さんは「とにかく前向き。ここに来たいと思ったのは、可能性がたくさんあると感じたからです。池谷の奇跡は、他の人を受入れる『懐の深さ』にあると思う。」と話してくれました。池谷地区に長く暮らす菅根さんと庭野さんは「中越地震の時、もう村を離れようと思った時、ボランティアの方々の元気をもらって今がある。今でもNPOの体験イベントがあり、山菜料理をふるまって楽しんでいる。」としみじみ語ってくれました。池谷地域の皆さんは助け合っただけでなく、本当にお互いに支え合っていることがよく分かりました。夕方のお忙しい時間の中、本当にありがとうございました。担当 田中・藤田(真)

梅雨



いよいよ梅雨の季節が到来します。ところでなぜ梅の雨と書いて「つゆ」というのかご存知ですか?語源は中国ですが諸説あります。

- ① 梅の熟す季節の雨なので「梅雨」という。
- ② 中国ではカビの生えやすい季節の雨ということで「微雨(ばいう)」と呼ばれていたが、カビでは語感が悪いため同じ読み方の「梅雨(ばいう)」に変化した。

中国から日本に「梅雨(ばいう)」として伝わり、江戸時代頃より「つゆ」と呼ばれます。こちらにもいろいろな説があるようです。

- ◆雨の多い時期、露から連想して。
- ◆梅の実が熟してつぶれる時期なので、つぶれるを意味する「潰ゆ(ついで)」からきているという説。などなど...

梅雨入りは気象学上では、春の終わりと同時に夏の始まりであるとされます。来たるべき夏に備えて、大雨や体調に気を付けながら梅雨と上手につきあっていきたいですね。

6月のカルチャー教室のお知らせ

◇ひと葉のリース教室「貝殻のリース」
夏に涼しげな貝殻のリースを作ります!
日時: 6月9日(月)、6月15日(日) 10:00~11:30
※どちらか都合の良い日をお選び下さい。
参加費: 3000円(お茶付)
お申込み: ひと葉 山本さんまで
Tel 090-3810-4979
◇会場は雪国ドミノハウス(縮荷町)



ふるさと発見館



新築・リフォーム・不動産
— 土・日も営業しております —

株式会社 フlowerホーム
〒949-8615 十日町市中条甲921-1
TEL 025-752-5477 Fax 757-1517
フリーアクセス 0120-550-208

URL: <http://www.flower-h.com>
email: flowerhome@k2.dion.ne.jp

これは中条・四日町・新座・田川町・江道の地域に配布致しております。不要な方はご一報ください。

編集担当 星野・田中・中澤

みんなで止めよう温暖化
チャレンジ25キャンペーン

flower 通信



NO. 234 6月号
平成26年5月20日発行

「致知」4月号より
選者 星野 功一

自分に正直になったとき、
大事なことに気づく
本気で何かをしているとき、
大事なことに気づく

もくじ

表紙

星野の言葉

特集

ホタルを見に行こう!

中央

だんだんどうも... 池谷地区の皆さん

裏表紙

梅雨 お知らせ etc...